



エンゲル係数って？

◆支出に占める食費割合／生活水準を測る指標

Q－先日、エンゲル係数が約40年ぶりの高水準を記録したというニュースがあったけど、そもそもエンゲル係数ってどういう意味。

A－「エンゲル係数は、家庭の支出に占める食費の割合を表す指標です。食費は生きていく上で欠かせず、簡単に削ることができません。収入が少ない場合、他の支出を節約して確保することになります。反対に収入が多ければ娯楽や衣料品、電化製品などの購入に回せるお金が増え、食費の割合は低下していきます。そのため、エンゲル係数は生活水準や貧困の度合いを測る指標の一つとされています」



Q－生活水準が下がって40年前と同じくらいになっているということなの。

A－「エンゲル係数は、国や地域の所得水準だけでなく、物価や生活様式、さらには少子高齢化など、その時々々の価値観や社会の状況によっても変化していきます。現在、エンゲル係数が高くなっているのは、世界的な物価上昇や円安、さらには気候変動による農産物の不作もあって、食品価格が収入を上回るスピードで上昇したことが大きな要因と考えられます。確かに各家庭の負担感は増し、節約の動きは出てきていますが、一方で、収入も増加傾向にあるので、エンゲル係数の上昇をもって直ちに生活水準が下がったとまでは言えないでしょう」

Q－富山県の現状は。

A－「5年に1度実施される全国家計構造調査で、2019年の富山県勤労者世帯のエンゲル係数は26・6%でした。全国9位とやや高い水準ですが、富山県の生活水準が低いというわけではありません。3世代同居など1世帯当たりの人数が多いことや、共働きが多いため調理時間を節約できる総菜や調理食品がよく購入されているといったことが影響していると考えられます。このように、エンゲル係数は生活水準を測るための有効な指標の一つですが、それだけでなく他のデータも組み合わせながら総合的に考えていくことが重要です」

(この連載は北陸経済研究所の倉嶋英二が担当しました)